

研究区分：教育改革を志向した研究

タイトル：実技教育の学修成果化を高めるためシステム開発

一 予習・復習・実技評価・フィードバック方法の開発一

氏 名 福田 文彦 【所属】はり・きゅう学講座

【目的】

はり・きゅう学や医療の学修は、知識・技術・態度をバランスよく学び医療職としての倫理観を身に付ける事である。評価は学習の到達度を測定するものであり、必要な事はその評価を次の学習に効率的に活用することである。特に技術・態度等の実技系科目は、知識系科目と異なり評価の理解や評価後の自己学習が難しい科目であり、適切な評価者による評価とフィードバックが必要である。

実習や臨床実習では、その場で指導教員によるフィードバックが行われるが、実技試験等では、行われていない場合や行われてのいても時間が経過した後に行われていることが多い。また、評価のフィードバックは評価直後に行った方が効果的であることも報告されている。

本課題では、以下のシステムを構築する。

- ①実技授業に際して教員による標準的実技を事前学習用e-Learningコンテンツを作成する。
- ②実技試験の評価表とフィードバック評価表を連動されたシステム(ファイルメーカー)を作成する。
- ③実技試験をiPad等で評価し、試験直後には紙面で評価をフィードバックする。
- ④実技試験は、動画もしくは写真を撮影し、当日中にフィードバックする。
- ⑤実技試験後、教員による標準的実技を学習用e-Learningコンテンツとして公開する。
- ⑥公開に際しては、google classroomを使用する。

本システムが構築されれば、学習、評価、効率的なフィードバック、学習が効率的に行う事が可能であり、学生の学習意欲及び学習成果が高まると考える。

過去2年間では、経絡経穴学実習、臨床鍼灸学実習Ⅱ(運動器)において、②③④まで構築し学生からは、肯定的な評価を受けた。今年、さらにシステムを充実させせるとともに①⑤⑥についても構築する。また、科目も「はり技術学実習」「きゅう技術学実習」も加えるとともに明治東洋医学院専門学校鍼灸学科と連携して実施する。

【方法】

1. 作成教材

- ①経絡経穴学取穴実技動画作成(小田原先生、半田先生作成)
明治東洋医学院専門学校鍼灸学科により経絡経穴学取穴実技動画を作成した。
- ②経絡経穴学学修アプリ(廣先生作成)
明治国際医療大学はり・きゅう学講座にて経絡経穴学学修アプリを作成した。

2. 使用方法

- ①経絡経穴学取穴実技動画
明治東洋医学院専門学校鍼灸学科の取穴実技

において google classroom を活用して予習・復習教材として配信した。

②経絡経穴学学修アプリ

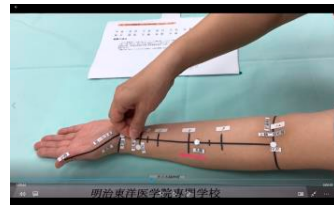
明治国際医療大学鍼灸学科の経絡経穴学で使用した。

3. 学生の評価

学修の活用性や役立ち度等について口頭で評価した。

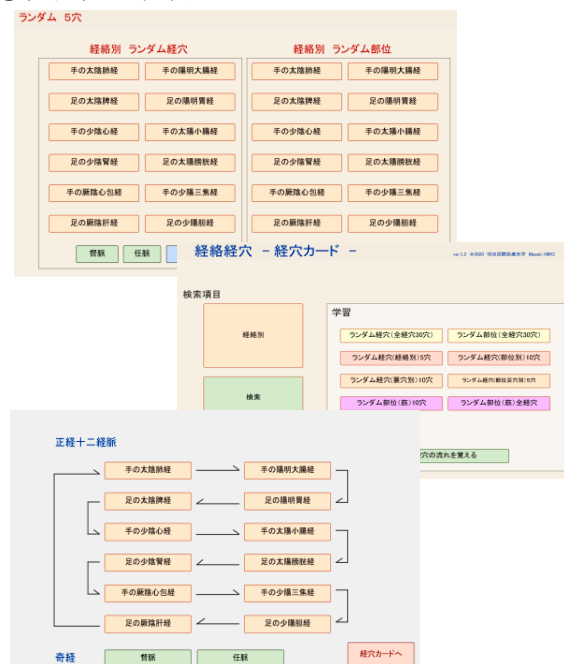
【結果&考察】

①経絡経穴学取穴実技動画



学生の評価は、授業の予習・復習に役立つの意見が多く、特に試験前で役立つとの意見であった。

②経絡経穴学学修アプリ



学生の評価は、授業の予習・復習に役立つの意見が多く、特に試験前で役立つとの意見であった。

【結語】

学習、評価、効率的なフィードバック、学生の学習意欲及び学習成果が高まるとことを目的に試験直後のフィードバックを行った。

その結果、学修意欲の向上が伺われた。

今後は、試験⇒評価⇒フィードバック⇒学修意欲向上⇒自己学修につながるシステムを構築する必要があると考える。

【論文及び学会発表】

なし